★通常事業評価シート【R7年度実施事業／環境農林水産部環境保全課による自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け（個別目標）	事業の目的（誰・何をどのようにするか）	事業の手段（今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に近づいたか	今後の方向性	事業費（決算見込額）	人件費（参考値）	コスト合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	公害対策事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	健康被害及び生活環境への被害を未然に防止するため、環境関連法令に基づく指導及び環境の監視を実施する。	公共用水域、地下水、有害大気汚染物質、ダイオキシン類、環境騒音の常時監視 特定事業所の排出水の測定 工場、事業所及び工事現場への立ち入り検査	3：おおむね近づいた	継続	10,124	23,478	33,602	調査項目の増加	調査項目が増えた場合に予算措置を適切に図ること。	
2	環境保全事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	安全で快適な生活環境の保全を図るため、環境の保全に係る活動を総合的に行う。	環境審議会（２回）、環境影響評価専門員会（１回）の開催 各種啓発活動	3：おおむね近づいた	継続	412	3,327	3,739	啓発活動の効果向上に向けた改善	啓発内容のマンネリからの脱却 市民の心に響くテーマとアピール	
3	浄化槽指導事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	公衆衛生の向上及び生活環境の保全のため、浄化槽管理者に対し浄化槽法に基づく適正な維持管理を指導する。	浄化槽管理者への戸別訪問による管理者の義務の啓発	3：おおむね近づいた	継続	-	8,654	8,654	浄化槽管理者への法令等の周知	浄化槽管理者が適切に浄化槽を管理し、法令に基づく手続きに遺漏が無いよう市民等に対し効果的に啓発する。	
4	自然環境保全事業	人が緑と触れあっている	地域の貴重な財産である自然環境の保全・再生を図るため、自然環境の保全及び啓発に係る活動を行う。	神於山保全活用推進協議会の体制等の改善 クビアカツヤカミキリ被害対策 里山ボランティア育成入門講座の実施	3：おおむね近づいた	継続	620	9,751	10,371	神於山保全活用推進協議会の活動活性化 クビアカツヤカミキリ被害対策の強化	神於山保全活用推進協議会の取組のPR クビアカツヤカミキリ被害対策に関する関係課や市民・事業者との連携	
5	地球温暖化対策事業	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている	市域内における、温室効果ガスの削減に努めるため、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を推進する。	地球温暖化対策設備導入補助金の交付 リユースEV運用実証 クールオアシス登録施設の調整	3：おおむね近づいた	継続	5,000	6,540	11,540	市域における再生可能エネルギー導入方策の確立 EVの普及	経済性を踏まえた再生可能エネルギー導入方策の確立 リユースEV運用実証の成果データを用いた啓発活動	
6	環境計画推進事業	持続可能で信頼される行政になっている	地球環境に配慮した取組を推進するため、岸和田市環境計画の企画、調整及び進行管理を行う。	環境計画の改定	0：進捗なし	継続		1,881	1,881	岸和田市環境計画の改定	分かりやすい計画内容の編集	
7	環境保全課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	円滑な業務遂行に向けた各種改善	3：おおむね近づいた	継続	1,369	19,237	20,606	各業務の効率化	データ整理	
8	岸和田市環境基金積立事業	持続可能で信頼される行政になっている	生活環境の保全・向上に向けた環境施策の拡充を図るため、岸和田市環境基金を適正に管理する。	岸和田市環境基金への積立	3：おおむね近づいた	継続	18	151	169	より効果的な事業への活用	環境保全課、財政課、事業主管課との間における適切な情報共有	
9	専用水道等指導監督事業	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	衛生的で清潔なまちをつくるため、専用水道、簡易専用水道、特設水道及び飲用井戸等に対し衛生管理指導を行う。	専用水道設置者への立入指導、貯水槽水道設置者への適正な4衛生管理に関する啓発文書の配布	3：おおむね近づいた	継続	234	4,891	5,125	水道法の所管に関する整理ができていない	水道法の所管について明確にする	
10												
11												
12												